

(51)

## 解題

### ワークショップ 「日本のベトナム関係アーカイブズ、 ベトナムの日本関係アーカイブズ」について

武 内 房 司

本号に収める以下の論考は、2018年11月24日、学習院大学東洋文化研究所・同大学院アーカイブズ学専攻・同人文科学研究所・同文学会の共催で開催されたワークショップ「日本のベトナム関係アーカイブズ、ベトナムの日本関係アーカイブズ」(“Historical documents about Vietnam in Japan and about Japan in Vietnam”)に提出された諸論考のうちの4篇を収録したものである。

2017年11月、学習院大学大学院アーカイブズ学専攻の訪問団はベトナム国家人文社会科学大学ハノイ校アーカイブズ・文書管理学専攻を訪れる機会があり、その際に同専攻のヴー・ティ・フン (VŨ THI PHỤNG) 准教授やダオ・ドゥック・トゥアン (ĐÀO ĐỨC THUẬN) 准教授などから、ベトナムにある日本関係アーカイブズ、日本にあるベトナム関係アーカイブズに関する解題・目録化作業等をつうじてアーカイブズ学への貢献をめざしてはどうか、との提案を受けたことが端緒となり、その第一歩として企画されたのが、日本とベトナムに所蔵されている日越関係アーカイブズに関する上記のワークショップであった。

東游運動から100年くらいのタイムスパンで、日本とベトナムとの交流の歴史を、日本とベトナム、さらにはベトナムと深い関わりを持ったフランスにおけるアーカイブズをもとに跡づけることを目指したこのワーク

ショップには、ベトナムの上記アーカイブズ・文書管理学専攻より、ダオ・ドック・トゥアン同専攻主任、カム・アイン・トアン（CAM ANH TUẤN）及びグエン・ホン・ズイ（NGUYỄN HỒNG DUY）副主任の3名、さらにフランスのフレデリック・ルスタン（Frédéric ROUSTAN、フランス・リヨン第2大学准教授）氏が参加され、ベトナムやフランスに所蔵されている日越関係に関するアーカイブズについてご報告をいただいた。なお、日本所蔵のベトナム関係アーカイブズについては、立川京一（防衛省防衛研究所戦史研究センター戦史研究室長）・小原由美子（国立公文書館首席公文書専門官）の両氏よりそれぞれ貴重なご報告をいただいたが、今回はまず、日本にあまり知られることのないベトナム・フランス所蔵アーカイブズに関する論考を優先して本号に掲載させていただくこととした。